

科学館おもしろ教室
“Science-Labs from Science Museum at School”

千葉市科学館
Chiba City Museum of Science
Goal 4,9

「丸いつぶつぶがいっぱいある！」バナナのデンプンを顕微鏡の視野の中にとらえ、子どもたちは歓声を上げました。小学校5年生のクラスで顕微鏡の使い方の授業をした時の様子です。

千葉市科学館「おもしろ教室」は、新規事業として今年度から取り組み始めました。今学校では、道徳の教科化や英語教育の導入など指導する内容が増え、先生方は多忙の中に日々を送っています。そうした学校教育を少しでも手助けしたいという思いからこの「科学館おもしろ教室」は生まれました。

教育課程内の時間、理科や生活科、総合的な学習の時間。特別支援教育にあつては生活単元学習の時間が対象となります。事業の計画、学校との連絡や調整、実際の指導まで、中心となるのは学校教育に長く携わってきた「教育アドバイザー」と呼ばれる人材です。教育アドバイザーが各学校と打ち合わせ、科学館スタッフやボランティアと学校に出向き、1～2単位時間の授業を担当の先生との協力体制の基に進めます。

主な学習内容は、理科の自由研究相談や顕微鏡等の器具の使い方、星座観察の仕方などで、生活科や生活単元学習では、身近なものを使ったおもちゃ作りやサイエンスショーが中心の活動となります。

子どもたちの興味関心を高めながら科学の芽を育て、理科教育の振興に努めると同時に、学校における担任の先生と協働することで、教員の資質向上と理科教育の面白さを実感してもらうことが私たちの願いです。

年間60回を予定しているこの活動は、年間を通じて実施し、千葉市の学校教育の科学分野に少しでも寄与したいと考えています。

【生活科「空気で遊ぼう」】



【生活単元学習「たたきぞめ」】

